

PERROTポップアップスプリンクラー-LVZR22シリーズ

取付口径40A/50A/65A

土つまりを解消したベンチ（腰掛）タイプ、賢大なステンレスポティです。お客様のご要望に合わせて2種類のラインナップをご用意しました。

やわらかく
やさしい潤いを

芝山公園（芝桜散水）



LVZR22型（埋設用）



地中に埋設するタイプです。オプションで、土砂の流入を防ぐ「土砂防止リフ」の水のホウネやオーバーフローを防ぐ「フローストップバルブ（水圧作動弁）」も用意しています。別紙カタログをご覧ください。天然芝も人工芝のグラウンドには人工芝貼付タイプもございます。



人工芝付LVZR22型

クッションラバーが標準装備されたハイグレードな大型ベンチ（腰掛）式ポップアップスプリンクラー



クッションラバー



ステンレスポティ



LP-LVZR22型

高さ：500mm
上部径365φ



MP-LVZR22型

高さ：395mm
上部径245φ
（マット込み外径345φ） ※画像はオプション（別売）の「保護マット」を装着しています。

手前から奥まできれいに散水します。電力不変で水圧による回転します。校庭や競技場、芝生広場などあらゆるフィールドで使用可能なポップアップスプリンクラー。水圧の力で水が持ち上がり散水するタイプです。地上に突出した「ベンチ（腰掛）式」・地中に埋設する埋設式「が、ベンチタイプを埋設して使用することも可能です。独立したベンチタイプの開発された内部のスプリンクラーは、水滴の粒子が細かく、遠方まで飛び出し、世界の60カ国以上で実績のあるストセラです。電力を使わず、水圧で回転するので、パワー修理も安心です。360度回転はもちろん、回転範囲は、またたく間に調整可能です。この機種は散水する対象を選ばず、グラウンド以外の散水にも採用されています。お問い合わせお待ちしております。

省スペース・低コストの中型ベンチ（腰掛）式ポップアップスプリンクラー

経済的にポップアップスプリンクラーを導入する方法

大面積のグラウンドでは無理に深く掘る必要がなくなり、配管口径やポンプが入りやすくなります。導入コストを抑え、しかも多く散水するにはグラウンドの周囲部をベンチタイプ。中心部を埋設式や、散水車などの他の散水システムと組み合わせるのが良い方法です。全自動にする場合は弊社の「LVZR22」シリーズを使用すれば、制御盤の設置量を削減することが出来ます。また、全動にしておく際にバルブを取り付けて自動で水を出し止めすれば、必要なスト削減に繋がります。このように「パイプ」で「水圧」を削減し、水圧を散水する方法は多数あります。お気軽にご相談ください。散水相談は無料です。知識の無い方でも親身になって対応致します。



*06ドイツワールドカップスタジアム アリアンツアリーナでも採用されました（上記画像）

性能表（ベンチ〔腰掛〕式・埋設式LVZR22シリーズ）

※無風状態の工場検査値です。

LVZR22 ノズル口径(mm)	φ7.0×5.5	φ8.0×5.5	φ9.0×5.5	φ10.0×5.5	φ11.0×5.5	φ12.0×5.5
LVZR22F ノズル口径(mm)	φ7.0×5.5×5.2	φ8.0×5.5×5.2	φ9.0×5.5×5.2	φ10.0×5.5×5.2	φ11.0×5.5×5.2	φ12.0×5.5×5.2
水圧(kg/cm ²)	3.0:4.0:5.0:6.0	3.0:4.0:5.0:6.0	3.0:4.0:5.0:6.0	3.0:4.0:5.0:6.0	3.0:4.0:5.0:6.0	3.0:4.0:5.0:6.0
散水半径(m)	19.0:19.5:20.6:21.4	19.5:20.5:21.5:22.5	20.0:21.2:22.4:23.6	20.5:21.9:23.3:24.7	21.0:23.0:24.8:26.6	21.5:24.0:26.5:28.0
LVZR22 毎分吐出量(L/min)	71:82:92:100	89:103:115:126	107:124:139:148	125:145:162:177	142:164:183:201	161:186:207:227
LVZR22F 毎分吐出量(L/min)	88:100:113:125	106:121:137:151	124:142:161:177	142:163:184:202	159:182:206:209	177:204:229:252
LVZR22 ノズル口径(mm)	φ13.0×5.5	φ14.0×5.5	φ15.0×5.5	φ16.0×5.5	φ17.5×5.5	φ18.5×5.5
LVZR22F ノズル口径(mm)	φ13.0×5.5×5.2	φ14.0×5.5×5.2	φ15.0×5.5×5.2	φ16.0×5.5×5.2	φ17.5×5.5×5.2	φ18.5×5.5×5.2
水圧(kg/cm ²)	4.0:5.0:6.0:7.0	4.0:5.0:6.0:7.0	4.0:5.0:6.0:7.0	4.0:5.0:6.0:7.0	4.0:5.0:6.0:7.0	4.0:5.0:6.0:7.0
散水半径(m)	25.0:27.5:29.0:30.5	26.0:29.0:30.5:32.0	27.0:30.0:32.0:33.5	27.5:30.5:33.0:35.0	32.0:36.0:38.0:39.0	34.0:38.0:40.0:41.0
LVZR22 毎分吐出量(L/min)	209:234:256:277	237:266:291:314	265:297:325:351	278:311:341:368	396:455:501:547	440:503:556:620
LVZR22F 毎分吐出量(L/min)	228:231:281:304	256:287:316:341	284:318:350:378	297:333:366:395	415:477:526:574	488:558:617:688

ポップアップスプリンクラーの選び方の手順

- ①隅の方から回転範囲を限定して散水する場合や、360度回転で散水するが、なるべく経済的に容量の小さいポンプで散水する場合はLVZR22型、360度回転のみで使用し、容量に余裕のあるポンプで散水する場合はLVZR22F型を選択します。
- ②左記性能表から現在散水を考えているエリアに必要な「散水半径（散水距離）」を探します。するとその距離に応じた「ノズル口径の大きさ」「必要な水圧」「必要な毎分吐出量」が判ります。注意点としては、左記性能表は無風状態の工場検査値ですので、設計の際は風による風圧損失などを考慮して散水半径を約15%位減じて算出し、水量も約10%程度プラスしてポンプ選定や機種選定するのが望ましいやり方です。スプリンクラー選定・ポンプ選定・必要な配管口径などはお気軽にご相談ください。

スプリンクラーの選び方（既設のポンプを利用する場合）

- 1) 既設ポンプの毎分吐出量・水圧（揚程）
- 2) 配管口径とポンプから設置する場所までの距離を御連絡ください。分かる範囲で結構です。機種選定致します。

破損したスプリンクラーから交換を考えている方

- 使用していたスプリンクラーが壊れていて交換したいのだが機種が不明な場合は、
- 1) 水の吐出口の穴の寸法（ノズル口径）
 - 2) 既設スプリンクラーの取付口径（配管口径）
 - 3) 使用しているポンプの能力（水量・水圧）
- などを分かる範囲で御連絡ください。その際にデジタルカメラやカメラ付携帯電話などで壊れたスプリンクラーの画像をメールして頂くと、御話が勧め易くなります。

E-mail info@sankosangyo.jp
Tel 03-3703-4554
Fax 03-3703-4557
三光産業株式会社
ポップアップスプリンクラー相談係まで

